

# 健康通信

問合先 市民病院 (☎ 76 - 4131)

## 大腸がんは便潜血検査で 「早く見つけること」が命を守ります！

### ◆大腸がんは身近ながんです

大腸がんは、日本人が最もかかる人の多いがんです。男女ともにがん全体の中で大きな割合を占めており、年間 15 万人以上が新たに診断されています。早期に発見できれば大腸カメラだけで治ることも少なくありませんが、進行してから見つかったと外科的な手術や抗がん剤が必要になる場合や、治療できず命に関わる場合もあります。

### ◆毎年の便潜血検査が第一歩

現在、日本の市町村の大腸がん検診では便潜血検査（2 日法）が行われています。この検査は自分で気づかないわずかな出血を調べるもので、大腸がんによる死亡を減らすことが科学的に証明されています。40 歳以上の方は症状がなくても毎年受けることが勧められています。

### ◆「陽性」と言われたら必ず精密検査（大腸カメラもしくは大腸 CT）を

便潜血検査で「陽性」と判断されても「痔があるから大丈夫」と自己診断してしまう方が少なくありません。しかし実際には痔があっても大腸がんから出血している場合もあります。便潜血検査は「がんの可能性のある人を見つける検査」です。陽性になった場合は精密検査が必要です。大腸カメラが第一選択となりますが、羞恥心や恐怖心から受診をやめしてしまう方もみえます。眠り薬（鎮静薬）の使用や女性医師の対応などもありますので、まずは各医療機関にお問い合わせください。また、第二の選択肢として大腸 CT 検査があります。前処置（下剤）が必要なのは大腸カメラと同じですが、身体への負担は減らすことができます。ただ、大腸カメラと異なり、確定診断や治療は行えませんので異常があれ

消化器内科 部長医師

中野 有泰

ば大腸カメラを受けていただく必要があります。日本では便潜血陽性後の精密検査受診率が十分とはいえず、そのことが大腸がんによる死亡率の高さにつながる一因と考えられています。陽性と判定されたら、できるだけ早く精密検査を受けましょう。

### ◆大腸カメラは「がんになる前」や「早期がん」を見つけて治療します

大腸カメラではがんだけでなく将来がんになる可能性のある大腸腺腫（一般にポリープと呼ばれます）や便潜血では拾いきれない早期がんを見つけて治療することができます。実際にポリープを切除することでその後の大腸がんによる死亡が半分以上に減ったことが海外の研究で証明されています。つまり、大腸カメラは「がんを見つける検査」であるだけでなく「がんを予防する検査」でもあります。

### ◆症状がある方は検診ではなく受診を

便潜血検査は優れた検査ですが、すべての大腸がんを見つけれられるわけではありません。年 1 回の検診でタイミングが合わない場合があります。

- ・数カ月続く（もしくは悪くなる）便秘や下痢
- ・便が細くなった
- ・見た目で血便がわかる
- ・貧血を指摘された
- ・腹痛が続く

このような症状がある場合は「次の検診まで待とう」と考えず、医療機関を受診し、大腸カメラについて相談してください。症状がある方には検診ではなく診断のための検査が必要です。

大腸カメラでの検査やポリープ、がんの治療ともにほとんどの場合は当院で対応できますのでお気軽にご相談ください。

病院ホームページ▶

